

「課題名：AUC を考慮したバンコマイシン投与設計適正化の検討」について

○ 研究の意義・目的

抗菌薬バンコマイシンによる治療において、本邦や米国のガイドラインで推奨されることになった新しい投与設計手法を導入するにあたり、投与設計において考慮すべき患者さんの背景因子を探索します。これにより、感染症治療や副作用回避といった成績を改善しうるより適切な推奨投与設計を確立することが期待されます。

○ 研究対象者

2010年4月から2024年3月までに、広島大学病院で注射用バンコマイシンが投与開始された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。転記する内容は年齢、体重、性別、バイタル（血圧・脈拍数・呼吸数等）、血液検査（肝機能、腎機能、アルブミン等）、細菌検査結果、薬剤投与歴等です。個人が特定出来る情報は解析に利用しません。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2025年3月31日（解析期間含む）

○ 個人情報の保護

調査にあたり、その内容は患者さんのプライバシー保護に十分配慮して取り扱います。情報が個人を特定できる形で公表されたり、第三者に知られたりすることはありません。不明な点がございましたら、以下の連絡先にお問い合わせください。また、研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。申し出があったとしても、当院での診療等に不利益が生じることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5572

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤主任 富田隆志（研究担当者）